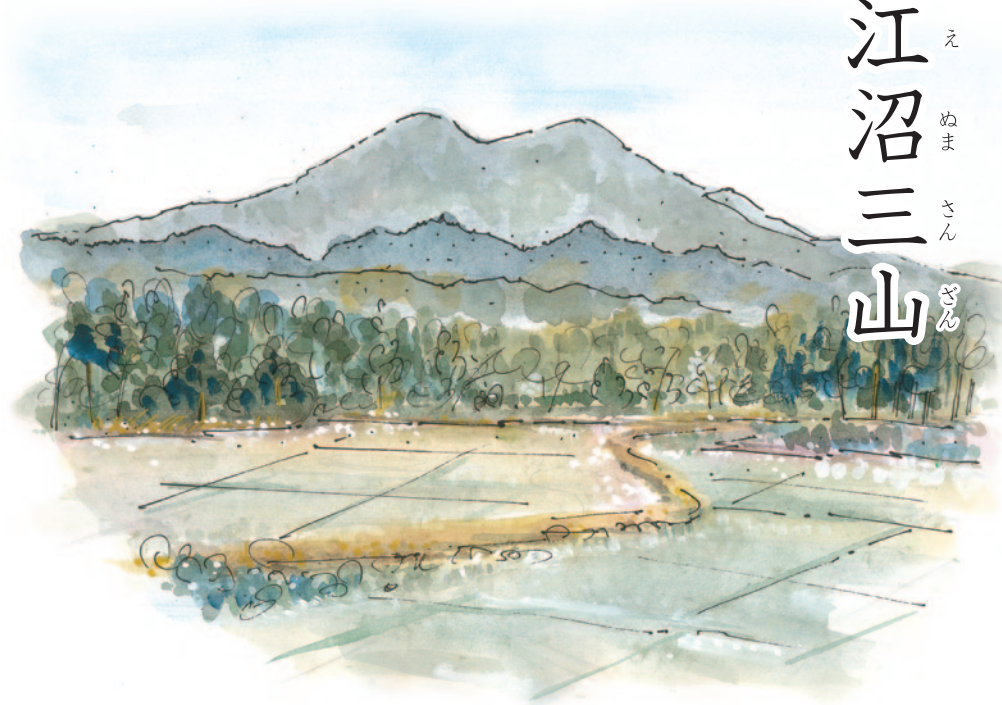




動橋川

いぶり はし がわ

勅使大橋から見た動橋川、川沿いに桜が咲き、柳橋が見える



江沼三山

え ぬま さん ざん

動橋川上流より鞍掛山を望む

大田山系に源を発する動橋川は、加賀市内東部を流れる県内でも珍しいダムのない二級河川です。かつては、柴山瀧、今江瀧、木場瀧の加賀三湖とつながり、日本海に注いでいました。

荒谷町から上流域では、みごとなV字形の谷を形成し、急峻な山容をつくっています。

一方、塔尾町から水田丸町にかけて、動橋川はゆつたりと蛇行して流れ、その両岸には小規模ながら、きれいな河岸段丘を観察することができます。

栄谷町、勅使町、森町、上野町のある丘陵地の麓は、二〇〜四〇m前後の平坦な地形をつくり、松山町周辺では、平坦面の上部に古い段丘の一部が、長い年月の浸食にたえて残存しています。

動橋川による特異な地形と肥沃な地質を利用して、人々は水田や畑地として潤いのある生活を営んでいます。

大田山、富士写ヶ岳、鞍掛山を「江沼三山」と呼び、登山者に人気があります。富士写ヶ岳は二千万年前、鞍掛山は一千五百万年前、大田山は三百万年前の火山と言われています。

【大田山】
福井県との県境にあり、石川県側は山中・大田山県立自然公園に含まれています。コースも多く、花も多く、石川県や福井県の山や里を眺める二六〇度の眺望が素晴らしい。(標高 一三二八m)

【富士写ヶ岳】
「富士山」に似た形をしていることから山名がついたとされます。山中・大田山県立自然公園に含まれ、見ごとなホンシヤクナゲの群落があることで有名です。

登山口は、我谷、枯淵、大内の三箇所があります。(標高 九四二m)

【鞍掛山】
馬に鞍をかけたような形をしていることから山名がついたとされます。日本海を航行する舟の目標となっていたので舟見岳とも言われました。県内では珍しいヒユウガミスキやアセビが自生しており、春に美しい花をつけます。

登山口は、小松市滝ヶ原、加賀市塔尾、荒谷からのコースがあり、初心者にも登りやすい。(標高 四七八m)